婦人と家庭

お湯へ入る時 眼鏡や鏡の曇らぬ法 その曇るわけは？

眼鏡をかけたままお湯へ入るとか、或は熱いうどん、そば等の湯氣の立つものを食べる時などに、は眼鏡ガラス製の眼鏡でなく、水晶の眼鏡であると、かけたままお湯へはいらうと熱いものを食べようと一向曇るやうな事はない、ではガラスと水晶とは何處がどう違ふであらうか。

×

天然結晶物である水晶は完全なもの、人工的に造つたガラスは水晶に不完全なものと見らるべきものであるから、その相違は性質の相違と考へるよりむしろ程度の差と考へるべきである、だから良いガラスは水晶に近いものであり、悪いガラスは水晶と遠いものである。醫業ガラスの達し得る最高の標準は水晶であるといふ事になる。

×

眼鏡でも、鏡でも、湯氣の中で曇らないようにするには石鹼を水に溶かして、それを鏡なり眼鏡なりに塗りつけ、暫くしてから乾いた布でよく拭き落すと、湯氣の爲に曇らなくなる。眼鏡には、加里石鹼をグリセリンと少しのアルコールに溶かして使ふと特によい。

×

安物の鏡はよく拭いた時だけは一寸きれいだが、直ぐぼんやりと曇つてしまふ。それは湯氣のせいでもないのに、常に曇つてゐる鏡である、製造する時ガラスの面に銀をひくと直ぐに曇を生じたがるものであるそのわけは、硝子の表面からは何時も一種の滲出物が出てゐてそれが温氣を吸收して溶解し硝子面で種々に收合したり燒きついたりしてそしてその結果曇を生じたのである。つまり硝子の表面は温度の高低に論なく、常に滲出物が滲出してその爲めに硝子面が蔽はれて曇を生ずるのである

滿洲の衛生生活について（下）

醫學博士　松浦有志太郎

一、滿洲に於ける食物衛生の不合理

此は滿洲に限らず内地も同樣の事ではありますが、滿洲に於てはゼイタクが進んで居りますだけそれだけ、又此の不衛生もひどい樣に思ひます。「酒や煙草も小量は藥である適量に用ひては却て精神を爽やかにし能率を擧け疲勞を醫する」と云ふ衛生上の無智識から可なり多く用ひられ宴會などの飲酒社交も可なり多い樣に思ひます、到る所雪を欺く樣な白米飯が專ら行はれて滿洲人の常食とする粟、高粱包米などを少しも顧みられずその實物を見た人も少く、名さへ知らぬ人が多い位、私が五年前に可なりに勸誘致しました玄米飯も殆んどその跡をとどめて居りません、從つて脚氣その他の病弱者の甚だ少からざるも一つは此の白米禍である事を疑ひませぬ、出來る事ならば早く此の方面の智識を今少し進めて、玄米や粟や、高粱、包米を食する樣になつたならば同胞の健康狀態を一變し得る事難くないと思ひます、又副食物に於ても、鯛、鰆、マグロのさし身、肉類罐詰類、乃至は野菜類にしても其皮を思ひ切り厚く剝ぎ取つて調理したのが多く、あたら必要なるヴイタミンや榮養分を除去してその粕を食するとふやりかたにて此れ又在滿同胞の榮養不足、虛弱多病の原因となつてをるのであります之に對しまして支那農民、苦力達の食物を見又試食致しますと、朝は粟、晝は高粱に小豆又は綠豆を入れたる飯、夕は包米餅子又は小麥のまん頭或は燒餅と云ふが如く穀物雜穀類を取替へ引替へて混食し之に副食物としては、生ねぎ、生ニンニク、にら、生の白菜、大根鹽漬、綠豆のもやし、大豆や落花生の鹽煮等にて少しも砂糖を用ひず、ダシジャコに離かれ、しや、タマを用ひ、實に理想的の榮養物と認むべく又極めて安價の食物にて到底日本人側のゼイタクなる不完全食とは日を同じくして語り難い位です、若しも、我等日本人が此の滿洲の榮養食原則をよく諒解して之を學び習ふたならば我が同胞の健康狀態は更に改善される事が出來やうと思ひます、同時に經濟生活に於ても大に改善されて安全强固となるのは申すまでもありません。以上申し述べました樣な平々坦々たる順路を我が同胞が進んで行きましたならば、前の悲觀論者が擧けた樣な二箇條の難關も何の苦もなく突破打開する事が出來て滿蒙其他への商業勞働、農業の發展進出も容易に行はれ得るのでありませう而して安價の生活は自らにして下座の生活を行する事になりますから、彼の低級なる優越感の滿足を此れ事とする高慢な態度は自ら改まりて敬愛の念生じ、日滿親善は云ふに及ばず、凡ての民族と相親しみ、相和する事が出來ると思ひます、此れやがて明治大帝の教育御勅語「恭儉己を持し、博愛衆に及ぼす」の大聖旨に適ふ所以の道であうと思ひます。滿蒙進出發展の道も亦之を措いて他になき事と私は信じます

以上の論據となるべき個々詳細の具体的事實に就ては他日機を得て記載したい思ひます

四ヶ月に亘る滿洲視察旅行に於て到る處滿鐵の從事員各位知己友人、修養團、禁酒會及び一燈園關係の同人諸氏の一方ならざる御待遇と御世話樣になりました、甚だ略儀にて禮を缺く事乍ら茲に餘白に於て厚く感謝の意を表明します（完）

海の外から

「魔除け急報機」

ベルリン市では市内各警察署と連絡をとつて、市民の各家庭に闖入者急報機を備へ付けてゐる、五吋四方の器械で下方のハンドルを引くと所轄警察署に急報ライトが現れて急報者住所名は直ちに自動タイプライターで右ライトの傍に明記されると謂ふ。泥棒闖入者は此の急報知機出現に縮み上つてゐる。

□英京郊外の一風景

英京に用舍ありで英京ロンドンを遠く去る郊外では飲料水の不足を補ふ爲め「井水引上げ車」が三々五々現はれ出した是は日本の水車の樣な形体で車体の内に人間が入り、車輪の内部を歩く樣にすれば車は自然に廻轉して井戸水が出て來る

野菜相場

新京市場小賣相場表　三月十五日「菜果之部」

種別	値段	種別	値段
白菜	八 四	菠蓮草	一一
サツマ芋	四 三	大連物	一〇 一〇
山芋	一〇 〇八	里芋	〇八
ツクネ芋内地	二〇 一五	赤芋内地	一五
蓮根	一六 一四	牛蒡	〇五 〇四
丸大根	〇六	白大根「大連」	〇八 〇六
玉葱	〇八 〇九	赤大根	〇六
生姜	二〇 一二	人參	〇三 〇三
ワサビ	一五〇 六〇	ウド	三〇 二〇
玉菜	〇五 〇四	内地葱	一〇 〇八
馬鈴薯	〇三 〇二	カブラ大小	一〇
ユリネ	五〇 二五	水菜同	〇八
セリ内地	一五	ミツ葉大小	二〇 〇五
春菊大連	〇三	ワケギ内地	〇五
林檎	一三 一〇	胡瓜内地	一二 〇五
天津梨	一五 一二	内地梨	二五 一八
ネーブル	四〇	ミカン	一五
		西瓜	一二 二〇

藥局
全國及び滿洲藥店一齊に
携帯容器と
育兒讀本
進呈！
優美 携帯容器
最新 育兒讀本
東京ではこのごろ、帝劇や歌舞伎座の廻廊、さては競技場の座席などで、淑女、學生、紳士、御老人方が内懐やハンドバッグからコンパクト型で松と浪の蒔繪式の模様の粋な容器を出して、何か服用する微笑ましい新風景がチョイ〳〵見受けられます。――之が彼女、彼氏等が好んで愛稱する所謂「携帯容器」でありまして、中には斷然、「錠劑わかもと」がはいつております……。外出先で「錠劑わかもと」を服用するにはこの容器が最も床しく且つ重寶で、各方面から非常に愛賞されますので、此機に全國の皆様にも是非一個はお持ち合せ願ひたいのであります。
疾病豫防と恢復し、白米食の榮養缺陷を補ひ、スポーツ、勤勞の精力を持續する三大特質を有する「錠劑わかもと」を家庭に備えて適時服用することは既に一般の常識となつておりますが、只今緊急切迫してゐるといふ程の病状はなくとも、食慾不振とか胸やけ、食べすぎ、宿酔、腹こはし、疲勞といふ風なことは外出先でもよくあることでありますだけに、「錠劑わかもと」は外出先でもの〳〵つ必要な保健藥であります。――携帯用容器の必要は其處にあります……。
二重に贈呈致します小兒科の權威、小田美穂醫學博士の著作に係る「最新育兒讀本」(四六判、六四頁、附、民間療法)の新刊册子は育兒上ぜひ知つておかねばならぬ事項が網羅しつくされてをり、且つ凡ゆる民間療法と應急手當をも附記してある。家庭に一册はなくてはならぬ、實に重寶な册子であります。
なほ、この奉仕二品を差上げます期間は三月十一日から三月三十一日まで――期間は絶對嚴守――この機を逸しないで下さいませ。
主なる適應症
急性慢性胃腸カタル、胃酸過多症、胃擴張、胃アトニー、胃下垂、食慾不振、便秘、肺炎、肺結核、肋膜炎、貧血、脚氣、糖尿病、腎臓炎、神經衰弱、不眠、榮養不良、緑便、粘便、産前産後の衰弱
WAKAMOTO
景品
ポケット容器進呈
錠劑 わかもと 賣出し
胃腸と榮養に！！
わかもと
藥價低廉
二十五日量一圓六十錢
發賣元 榮養と育兒の會
東京市芝公園大門内際
振替口座東京一七〇〇番
電話芝三三三五、三三三八、三三六五番
海外代理店 三井物産株式會社
支店、出張所所在地――大連 奉天 新京 吉林 ハルピン 天津 北平 青島 上海 漢口 廣東 香港 サイゴン マニラ シンガポール ラングーン カルカッタ バタビヤ スラバヤ シドニー メルボルン 孟買 倫敦 紐育 桑港 シヤトル

夕刊
新京日日新聞

定價 一箇月金一圓 三箇月金二圓八十五錢 郵稅一箇月十錢
新京永樂町二丁目一番地
發行所 新京日日新聞社 電話〇〇番・三三五番・二二三番
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

デーリ、ニュース記者ウツド氏
公平無私の立場で語る

〔山海關十五日發國通〕シカゴ、デーリ、ニユース通信員ジユニアス、ビー、ウツド氏は「山海關滞在一週間、山海關事件及び最近の事態に關する自分の記錄はそれ程長くはないが、外んだものではない、又お國を眩的に多數の人と相談したものでも無いから、一切言葉に衣を着せて居ない、更に自分の記錄は義理の報告でもなく、公平無私の記錄である」と前提して左の如く語つた

する間に、軍隊は窃盜、掠奪、强姦を事として居る戰蹟を見學のため自分は屢々城壁を歩行して見た、城壁の彼方には支那兵の一團が村落を掠奪して居る、日本の歩哨は城壁上から之を目擊しながら一度も攻擊せぬ事を發明したので、射擊さへしなかつた

飛行機も時々飛んで來たが、石河の線からは一歩も出なかつた、市街の北方郊外で支那兵の遺骸をむさぼる犬、其側には子供が遊んで居る、又其百ヤードの所に井戸があり住民は群つて之をくんで居る之が山海關の現狀である

一九二〇年、張作霖が關内に入つて來た時、鐵道は三週間杜絶したが、それでも英、米佛、日、蘭人は百八十哩の交通網を守護した五年前唐山の炭坑罷業に際しては米國先づ手を引き、次で英佛も之に倣つたが、日本、嘗て交通路の保護を怠つた事はない、今や外交問題は起らうとして居るが、若し諸締約國が該鐵道保護の任務を果さなければ日本のみを以て之に當らしむべきだ」云々

外人の見たる
皇軍の神速な討匪
世界戰史上全く無類だと
聯合のミル記者語る

〔承德十五日發國通〕今回の討熱戰に從軍した新聞聯合社特派員ゼームス、ミル氏は左の如く語る

凌源から熱河へ立派な充實せる兵器を有する日本軍の前に支那軍は卵の殼の如く粉碎されて了つて、日本軍は十日間で熱河省全土を席捲した今度の日本軍の進軍は世界戰史上其類を見ない綏中から承德に至る迄は最初の支那軍の豪語にも拘らず忽ち慘敗し、朝陽は二臺のタンク、承德は二臺の裝甲自動車で遂に陷落した、

「私は先づ歐洲大戰の經驗によれば、激烈なる砲擊と全軍包圍の中にあらざれば到底陷落困難なるべき四十三呎の城壁をめぐらせる城内を、あの兵數を以て、然も一時間九十分の短時間内に完全に攻略の目的を遂した日本軍に敬意を表する、日支兩軍陣地の狀況等を綾多の危險を冒して具さに視察し、玆に纏めて本國に打電すると共に、感想文を關東軍司令部並に其他關係方面に贈呈したが、本日出發に先立ち該感想文を語らう

一九〇二年の議定書は、北平より海濱に至る二千二百六十哩の鐵道及び其の沿線二哩以内には一切支那兵の侵入を許されずと言ふ事になつて居るが、此條約による鐵道交通を確保するものは獨り日本あるのみではないか、米國は、歩兵第十五聯隊を天津に駐屯せしめ、僅かに二十一ケ分隊十二名を秦皇島に置くのみ、イタリーは水兵十六名をフランスは同二十名を、英國は又若干を置いて居るが、彼等に取つて鐵道は夏期山海關秦皇島への避暑のため利用されて居る丈けだ、一方支那軍隊は過去に於て此鐵道收入數千萬元をポケツトに入れた、今や支那軍は山海關、秦皇島間九哩の鐵道を完全に破壞して了つた、破壞された鐵道材料は陣地の構築に充當されて居る、第一彈を見舞はれゝば直ちに逃走する支那兵が、かゝる堅固な陣營を敷くのは抵抗の意思の堅固なるを知らしめる、鋼鐵のレールは路傍に拋棄されて居るが、枕木は永遠に姿を消して了つた一部は野營のたき火と化し、一部は陣地に大部分は住民に薪として使はれ、下級將校の小遣錢と化した支家な、支那の權利を喋々

日本軍は如何なる場合でも市街を爆擊しなかつた、住民は舊軍閥の苛斂誅求から救はれ、偏に日本軍に感謝して居る、日本軍は何處の村落に於ても金を拂はずに斷じて物を取つた事はない支那兵の放火と見らるゝ承德の離宮から起つた大火は支那の消防隊が逃げて了つたので日本軍が出動して之を鎭火せしめた

省内の外人宣敎師百廿五名は、皆無事で住民も外人も皆湯玉麟を鎰君なりと罵りこそすれ、その敗走を惜しむ者は一人も居ない日本軍が北平迄迫るか否やは學良の態度如何による、日本軍は支那兵が挑戰せぬ限り如何なる事があつても長城を越えるなと命ぜられて居る

骨拔きの
關稅改正案を
可決

〔東京十五日發國通〕衆議院關稅定率法中改正法律案の特別委員會は十五日午後一時四十五分開會し、關稅定率法中改正法律案、昭和七年度法律第四號(從量稅、附加稅に關する件)中改正法律案を議題として討論に入り永田善三郎氏(民)後藤亮一氏(國同)大山斐瑳麿氏等より夫々賛成意見を述べ、採決の結果兩案とも原案通り可決し、二時四十分散會した

外務省異動

〔東京十五日發國通〕桑港總領事館に轉任を傳へられてゐた外務省通商局第一課長西春彥氏は今回豫定を變更されて歐米局第一課長に榮轉し、現歐米局第一課長杉下次郞氏は

爲替銀行利付手形利率
二分の一引上ぐ

〔ニユーヨリク十五日國通〕ニユーヨーク爲替銀行は金利昂騰のため東洋向利付手形利率二分の一方引上げ、十六日から實施に決定、十五日の爲替は前日より落付き、やゝ强含みとなつたが、正金廿一弗丁度對英一志二片八分の三

ハンブルグ總領事に轉ずることなつたので通商局第一課長後任はシドニー總領事井上庚次郞氏に内定してゐる

米國の東洋向
輸出利付手形
協定利率を
引上ぐ

〔大阪十五日發國通〕ニユーヨーク十四日發住友銀行入電によれば、米國の東洋向け輸出利付爲替手形の協定利率は十五日次の通り引上げられ、十六日より實施される事となつた

日本向、滿洲向 七分(舊率六分)
其他東洋諸國向 六分(舊率五分)

美術品輸出
取締法案
十六日下院に
緊急上程

〔東京十五日發國通〕政府は十五日正午院内閣議で美術品輸出取締に關する法律案を決定し、十六日下院本會議に緊急上程することとなつた

清瀨、由谷兩氏
岩鹽の密輸問題で
荒木陸相と會談

〔東京十五日發國通〕國民同盟の淸瀨一郞由谷義治の兩氏は、午後二時四十分貴族院内の談話室で、荒木陸相と會見して例の岩鹽密輸問題の眞相を訊したるに、荒木陸相は左の通り報告した

本件は既に新聞が發表の通り、大塚久造が二百五十萬圓の利益を得んと十萬噸の岩鹽を關東州より支那へ輸出したが、引取人無きために目的を達し得ず大連に回航せしめた

大塚自ら毒瓦斯の原料と吹聽したため憲兵隊の活動となつたもので、大塚等は目下拘留取調中である、尙資金の提供者、毒瓦斯の原料とは見て居ない樣だ、此の外フオード會社が學良の註文によりトラツク百臺ガソリン六千ガロンを輸出したが、之は滿員組合の指令で全部大連に陸揚げし、滿洲國で買取つた

尙同樣目的の契約がゼネラルモーターとも履行されんとしたが、職工側の反對で不成立に終つた、利敵罪に就ては研究中である

因に淸瀨一郞、由谷義治の兩氏は午後三時廿分辭去した

貴院本會議

〔東京十五日發國通〕議疑に入り上山滿之進氏本案は二十年前一部資本家の企てた製鐵

所拂下案と本質に於て同じもので疑問があると前提して本案は民業救濟を目的として立案されたものでないか、民業の成績が惡いからとて成績優秀な官業がその犧牲となり、國家がその損失を救濟すべき理由はない、陸海軍省は官營では軍事上不便であるから本案に贊成したのか

中島商相

製鐵所は民間事業と對立せる爲め不便を感じてゐるのは事實だが、民間會社の内容は必ずしも惡くはない

荒木陸相

官營でも惡くはないが本案でも差支へない

大角海相も同樣に答へ、中御門侯を委員長として委員附託となる

次いで製糸業法中改正法律案を議題とし、有馬農林次官提案理由を說明、直ちに九名の特別委員に附託し十一時五十五分休憩、午後一時五十五分再開し、宇品港域軍事取締案を上程、西鄕委員長が委員の結果を報告し

水野甚次郞氏

廣島市民は生業を脅かされると恐怖心を有つて居るが彼等が諒解するまで延期せぬか

荒木陸相

金錢を以つて誘ふ時は或は國を賣るものがないと保し難いから必要がある

松本勝太郞氏は廣島市民の盛義に關すると運用に充分考慮するやう希望を述べて、可決確定

生糸販賣統制法案、日本蠶糸株式會社法案を既設委員會に併託し出版權法案、營業收益稅法中改正法律案何れも下院提出を既設委員會に併託、行政執行法中改正法律案を否決水產會法案を可決確定し二時四十二分散會した

國際司法部
會議代表
三橋久美氏内定

〔東京十五日發國通〕此の夏ジユネーヴで開かれる國際司法部會議の帝國代表は大審院部長三橋久美氏外司法書記官一名に内定した

軍事參議官會議

〔東京十五日發國通〕陸軍では十五日午後二時から大臣室で定例軍事參議官會議を開き、井上、鈴木、菱刈、南、渡邊、林、本庄各軍事參議官、眞崎參謀次長、柳川次官參集眞崎次長より熱河の兵匪討伐の經過及び北支に於ける治安狀況等について報告說明、四時散會

怪人凱歌 (百七十四)
須藤鐘一 作
濵秋方 畫

支那軍逆襲に備へ 喜峰口に陣地を構築

こゝ一兩日の戰局重視さる 待機の姿勢の我軍

〔喜峰口十五日發國通〕喜峰口の長城關門を中心に、防禦陣地を構築する一方分散せる鈴木部隊と松野尾部隊の集結を計りつつあり、十五日朝から更に〇〇部隊以下の各部隊の一部も自動車で到着、待機の姿勢を執りつつあるが一兩日中の戰局は極めて重視されてゐる

喜峯口目がけて 學良軍續々集結す

〔喜峰口十五日發國通〕服部部隊の爲め撃退された敵は十四日夕刻再び喜峰口南方地區に向け集結しつつあり、その數既に一萬餘名に達し主力は宋哲元の部隊である、更に支那軍は灤河以南の要害なる地形を利用して北平方面から學良直系軍を續々輸送しつつあり、これは長城線の戰鬪に一敗地に塗れた學良が自己の興望を繋ぐ爲め最後の一戰を喜峰口に擇び、全力を擧げて軍隊の増加充實に努めつつあるもので、この一戰こそ學良の死命を完全に制するが否かの岐れる戰として重要視されてゐる

上に、骸は一體づつおかれ、これが約一町に亘つて蜒蛇と續く、用意の石油を持つ戰友の手がワナワナとふるへる、傍らに置かれた骨箱の彈への本箱であるのも痛ましい限りである誰となしに歌ふ「こゝはお國を何百里」哀音切々として長城の溪谷をふるはし、鬼神の如き勇士の眼にもキラリと涙が光る、司令部からかけつけた服部部隊長はしばし言葉もなく勇士の靈に默禱を捧げ、やがて焰々たるほのほは日沒頃まで赤々と境の闇をこがしてゐた

蔣の脅威は 吳佩孚只一人

使者を派すも相手にされず 處置に頭痛鉢巻き

〔南京十五日發國通〕既報の如く北上の途次濟、閻兩者と會見し協力を求めた蔣介石は引續き交渉を繼續してゐるも其後一身の脅威を感ずるは吳佩孚にして、盛んに使者を特派して之が協力を切望するも相手にされず、背後には共産黨並に廣東派の不安なる態度あり、差當つての問題として

は、平津地方の學良直系の部下を如何に處分するかに就ても蔣介石が頭を痛めて居る所なるも結局は學良を失ひ結束力なき、之等の軍隊は蔣介石の籠絡する所となる可く、學良なき北支に覇を爭はんとする蔣介石も、現在の所協力者を求むるに汲々たる有様である

喜峯口戰鬪の 我軍名譽の戰傷者

〔喜峰口十五日發國通〕十二日喜峰口關門附近に於ける、激戰の我が名譽の戰死傷者の如くである

△戰死軍曹　長谷義雄
同　高木今次郎
上等兵　大久保捨次
同　峰吉新次郎
同　小松正雄
同　森谷支
同　高橋喜次郎
一等兵　多賀外吉
同　貴島五郎菊
同　土田源吉
同　阿部友次郎
同　中平利根吉
△負傷大尉　富山保吉
特務曹長　山田久一
上等兵　安達貞
上等兵　小野寺勇
同　八杉文七
同　山谷長藏
同　大園留治
同　菅原留忠
二等兵　大山孫助
同　船木留吉
同　西澤初美
同　桑内虎雄
同　酒井春雄
同　阪下新三郎
同　野呂政治
同　佐藤藏松
同　水野三藏
同　永田安太郎
同　西野貞治
同　古野俊彦
同　三浦勇次郎
二等兵　山譯田
尚同日の戰鬪に於ける〇〇
隊の戰死者
△戰死一等兵　貝沼芳吉
同　辻昇一
△負傷一等兵　管原武治
松野尾部隊の戰死傷者
△戰死軍曹　金野喜平治
同　伊藤龜治
上等兵　佐藤久榮
同　渡邊嘉太郎
同　菊間與志吉
同　畑島吉
△負傷上等兵　横關吉光
一等兵　古館熊吉
同　關野次郎
同　藤田吉
同　大塚福馬
尚十三日戰鬪に於ける戰死傷者左の通り
△戰死一等兵　飛澤繁
△負傷軍曹　菊地杵次郎
上等兵　澤田政雄
同　田中豐作
一等兵　岩佐多吉
同　渡邊勇
同　水島熊之助
同　山平光雄
外一名（氏名不明）
〇〇隊
△負傷曹長　岩屋勇翊郎
軍曹　岡部一雄
一等兵　室野鶴松
以上戰死二十一名、負傷四十名

何柱國軍も 內部的破壞か

熱河省から我軍の猛撃に遭ひ解消した僞勇軍約一千は義院口駐操營一帶に逍入して掠奪をはじめ、何柱國は部下軍隊に命じこれが侵入防止を命じた石河部落民は掠奪と勞役を恐れ山海關方面に避難する者が絶えず又何柱國支那軍の第一線は給養不良で既に戰意を失つてゐる、最近は退却の口實に日本軍の進撃を希望して居り幹部の中にも此際寢返りを計畫してゐる者もあるから何柱國の軍隊も內部から崩壞する事になるかも知れぬ

服部部隊の 卅六勇士 長城下に荼毘に 附せらる

〔喜峯口十五日發國通〕喜峰口激戰に於て勇戰遂に護國の鬼と化した服部部隊各勇士の遺骸は十四日長城關內の我陣地に於て荼毘に附せられた此の日さしも頑強に抵抗した敵も昨日の我軍の徹底的反撃に全く砲火を收め、久し振りにみる休戰日和である、戰友の手によつて運び出された三十六体の勇士の骸は肉飛び骨は碎け、如何に戰鬪の激しかつたかを如實に物語つてゐる、やがて長城下を流れる岩清水の畔にうづ高く積まれた薪の

後繼內閣の 目鼻が付けば 齋藤內閣は總辭職

〔東京十五日發國通〕議會終了旬日に迫り齋藤總理以下各閣僚の動靜を見るに、聯盟脫退其他殘務を整理し、後繼內閣の目鼻がつけば、現內閣は總辭職により潔く內閣の結束を遂げんとの意向に傾いてゐると見らるるに至つた

殘匪の掃討 日ならず完了

しい折柄整理は嚴重に監視されてゐる

〔□〕閣臣は部下三百を率ひて林東に來り、崔興武の率ゆる騎兵旅主力は林西に一部は林東に移駐し日滿兩國軍の指揮を受けてゐる、劈頭に歸順の意を表した劉桂堂は三百の部下と共に魯北に居り濤占海、劉文、檀日新等は逸早く多倫の方向に退却した、李芳亭、李振東は圍場附近に、李海青、孫殿榮は錐子山附近に於て辛じて余喘を保つてゐる、これ等の部隊は日日我軍の掃討に直面してゐるから日ならずして解消してしまうであらうと云はれてゐる

支那側の 出樣では 事態關內へ波及

〔喜峰口十四日發國通〕喜峰口一帶の長城の戰雲惡化し、敵は續々集結し反抗の氣勢を擧げつつあり、我一度廢砲せんか事態の關內への波及は避け難しと見られて居る

日滿軍を誘き出し 各國引出し策戰 ―蔣介石苦肉の策―

〔天津十六日發國通〕北支の時局は今や對日滿關係に於て最大危機に直面し來つたが駐日公使蔣作賓は昨日蔣介石と直接交渉を開始するか最上の「會見」の際、日本の空氣から見て感情を捨てゝ

に於る現在の線では支那軍の反撃が依然繰り返されるものと觀測されてゐる

「確保」せんとする事に決したものゝ如くである、それがため外交折衝の裏面に於て、長城

■なる事を進言した模樣であるが、外交・長羅交幹はあくまで諸國側を引入れる事の有利なるを主張し、數日前より北平外交團に對して猛烈なる運動を開始するに至つた、而して蔣介石は日支の全面的衝突は中國を滅亡に導くものであり、又國民に積極抗日を標傍せる手前直接交渉に入る能はざる狀態にあれ、此處に愈々最後の手段として先づ中央軍の督戰により、傍系雜軍をして長城一帶要地の奪還を試み且つ雜軍の勢力消滅を計ると共に、一方日滿軍が關內に進出せる場合は利害關係の深い各國を動かして、上海事件當時同樣に、天津圓卓會議を開催せしめ、平津の地を

九門口の正規軍は 沙河塞へ後退

日本軍の力を逆に利用して 鄭軍二千を葬る肚裏

〔山海關十五日發國通〕九門口の西方一里の第一線にあつた正規軍は若干の監視兵を殘し全部沙河塞へ後退した、情報によればこれが補充の爲め鄭桂林軍約二千名を當て後方より關外に押出し日本軍の力を借り一擧に同軍を整理する

この事だが果して鄭桂林がその手に乘るか否やは疑問である、併し同軍は素質極めて低劣で已に鐵血軍と屢々衝突して居る有樣で今後の成行きは注目されてゐる、尚鄭桂林は目下駐操營にあると

我軍不進出と見 學良軍長城南方に 續々集結

〔喜峰口十五日發國通〕長城の關門を奪還せんとして數次に亘つて逆襲し擧に出た宋哲元軍及び第二十九旅、第三十旅兩軍を長城南方に壓迫、徹底的の打擊を與へた服部部隊及び各部隊は命により引續き翌十四日も喜峰口始め長城線各關門の守備に任じたが敵はあくまで我軍が關內に進入せざるものとして正午頃又復兵を元の陣地附近に集結し始め

た、情報によると我が松野尾部隊の爲め一旦掃蕩された喜峯山部落は再び敵の根據地となつた模樣で、彼我の距離は敵の前進によつて再び一千米內外に接近した未だ砲聲を聞かないが山雨將に至らんとして風樓に滿つるの感あり敵軍の態度如何によつては戰線は更に擴大されるにあらずやと見られてゐる

石門寨方面 銃聲やまず

〔山海關十五日發國通〕昨十四日夕刻より起り始めた石門寨東方地區一帶の銃砲聲は今朝に至るもなほやまず右は大體に於て

一、日本軍は絶對に現在の線から進出しないと甘く見くびつてゐる事

二、最近北平方面よりの鋭き監視に答へる申譯的彈丸の處理と見られてゐるが、同地區一帶の實狀は極めて複雜で僞勇軍整理の聲やかま

蒙古人達の 皇軍感謝デー

キリスト教會も皇軍に感謝 赤峰の住民狂喜す

〔赤峰十五日發國通〕皇軍の入城によつて湯の暴政と專橫より救出された赤峰附近に在住する蒙古人の歡びは非常なもので、近く蒙古人大會を開きその喜びを分つ事となつた

又赤峰にあるキリスト教會では、從來の暴政により多大の迷惑を蒙つて居たのが、日本軍の入城により保護される事となり、今更らながら皇軍と支那軍との余りに間隔ある事

赤峰の市民 滿洲國の善政に感謝

〔赤峰十五日發國〕赤峰の治安回復と共に市政の建直しに着手したが從來赤峰に於て最も信望あつた商務會長揚志賓が北平に逃走した爲め民心の安定を缺いてゐたが、最近揚は歸順の意を表し近く赤峰に歸ることゝなつたので熱河興業銀行督辦を兼ねることは財界復興の上に大いに効果あるものと期待されこの外土地の有力者によつて市政復活が實現し又滿洲國に對し非常に感謝の念を捧げてゐる

萬福麟、蔣伯誠 將士慰問と激勵の爲 十六日石河へ向ふ

〔北平十五日發國通〕昨十四日保定に於て蔣介石と會見、北支の軍事狀態を報告、打合せを了し、同夜直ちに北平に引揚げた萬福麟及び蔣伯誠は更に蔣介石代理として前線將士の慰問と激勵の爲め十六日朝北平より石河方面に向ふ事となつた

陸軍異動

〔東京十六日發國通〕陸軍では騎兵部隊の指揮統制を一層整備する爲め編成の改革をなし、新たに騎兵集團長を設けることに決定し十八日發表される定期異動で左の如く任命されることになつた

騎兵學校長少將　宇佐美興屋
補騎兵集團長
少將　原常成
補騎兵學校長
騎兵學校教育部長
少將　茂沼蕃
補騎兵第二旅團長

學良夫人 于鳳上海着

〔上海十五日發國〕學良夫人于鳳は十五日午後三時半上海着、同四時十分學良の宿舍に入つた

に驚き皇軍に心から感心してゐる

三木武吉氏 民政黨に復黨か

〔東京十六日發國通〕曩に民政黨を脫黨せる三木武吉氏一派の復黨問題に就いては吉川磯吉氏が三木氏から一切の措置を一任されたので、以來部間を奔串中此の程本部及び三木一派の間は勿論所屬代議士の諒解も出來たので、愈々十六日午前十時から幹總務と打合せをなし正式入黨と決定した、今回復黨する人は三木氏の外松田若水、松永東、戶澤民十郎の三氏で民政黨はこれで百二十名となつた

米國政府 金融制限權を 議會に要請

〔ワシントン十四日發國通〕米國政府は英國の勸說に基き近く議會に對し大統領が如何なる國家に對しても同樣金融を制限し得る權限を附與すべき手續きを要請する意向なる旨十四日英國大使リンセイ氏に回答した

完全大規模な軍縮案 英首相より提議

〔ジュネーヴ十六日發國通〕ジュネーヴ到着以來各國代表と旺んに折衝を續けて居たマクドナルド英首相は、十六日從來の軍縮會議に未だ曾つて提出されたことのないやうな極めて完全にして且大規模の軍縮案を提出す答である、右案は軍縮の凡ゆる豫想並びに從來會議で到達された安全保障問題を含む凡ゆる結果を具体化した條約案より成るものであ る、更に右英國案は五ケ年を期限とするものである

御諮詢案第一 回審查委員會 十六日開會

〔東京十五日發國通〕樞密院では午前十時二十分より宮中東溜の間で聯盟脫退に關する御諮詢案の審査につき打合せの結果第一回審查委員會は十六日午後一時半より樞府事務所で開催するに決定して散會したが、其の結果本諮詢案の樞府本會議上程は二十二日の定例日となる模樣である

〔東京十五日發國通〕聯盟脫退處理案に關し、平沼副議長委員長とする審查委員會は十五日下審議を終り、十六日午後二時三十分から第一回審查委員會を開き政府側の說明を聽取する事となつた

五品代行 臨時總會 社長後任首藤 監査役

〔大連十六日發國通〕大連五品代行株式會社々長故伊藤久太郎氏の後任決定の爲、來る卅一日午後三時より五品會議室に於て、臨時總會を開催する事に決定したが、仄聞する所に後任社長に現監査役首藤定氏、現取締役菊直之助氏支配人を兼ねる事に內定、首藤監査役の後任を選定するため社長代理山田卯治氏談伊藤さん逝、なつて惜しい事をしました不取敢自分が代理となりましたが、自分は種々な關係で忙しいのでろくに御手傳が出來ないが社長適任者として、首藤さんの出馬を御願ひし、なかなか辭意が、かたかつたが、そうで安心しました、一方此の程漸く承知して異れた菌さんに支配人を兼ねて貰ふ事になり、又首藤さんの後任を〓日選ぶ事になりました

滿鐵地方部長 中西氏催宴

地方施設巡視中の滿鐵地方部長中西敏憲氏は十五日午後六時からヤマトホテルに於ける地方部事業と密接の關係ある人々四十余名を招待し中西氏は去年末地方部長就任以來三度新京を訪れたが寸暇なく面語する機會が無かつた旨を述べ挨拶、尚席上新設の滿鐵々路總局總務處地方科長多田晃氏を紹介、之に對し來賓を代表し出中副理事謝辭を述べ寬いで歡談七時半頃散會した

人事往來

▲增田增太郎氏（新京地方事務所地方係長）十六日午前九時本溪湖へ赴任
▲麗治氏（財政部總長）十五日午後〇時三十分吉林へ
▲稻葉大佐（教育總監部）十五日午後三時三十五分來京
▲新見中佐（大邱憲兵隊長）同上
▲長友少佐（新義州憲兵分隊長）同上
▲及川中佐（陸軍省）十五日午後四時三十分奉天へ
▲河信二氏（滿鐵理事）十六日午前八時來京
▲內山中佐（教育總監部）同上
▲金井保安課長（國務院總務廳）十六日午前九時南行
▲中西敏憲氏（滿鐵地方部長）十六日朝南行
▲多田晃氏（鐵路總局總務處地方科長）十五日夜發南行
▲貫島克巳氏（滿鐵經濟調査會幹事）十六日午前八時來京
▲奧村愼次氏（滿鐵審查役）同上

殉職警官の 弔慰金募集

去る六日〓部新京警備の尊い犧牲となられた日高、李兩刑事の英靈を弔し且つ遺族を慰藉する爲め左記に依り弔慰金募集を致しますから市民各位の厚き御同情を御願ひ致します

記

一、金額　制限なし
一、申込　地方事務所庶務係又は各區長へ御申込下さい
一、締切　三月二十五日限り
一、其他　領收證を發行せず、但し新京日日新聞に金額芳名を掲載して領收證に代へます

三月十四日
發起團体
地方事務所
商工會議所
地方委員會
各區長
居留民會

後援
新京日日新聞社
新京日報社

幕末異聞

愛慾火箭

瀧川駿 作　村瀬洸舟 畫

（六）

伉儷の爭ひ（二）

逃兒樂家の多賀孫左衛門の宅には主人の孫左衛門が、お使番といふ役柄、一晝夜交代なので、まだ城から下つてゐなかつた。

次男の喜六と三男の忠太夫は、背戸の廣場で、弓術を射てゐた。

長閑な春の緣側に腰をかけて、內儀のお節と話してゐるのは、五年前に岡山の池田家を浪人してから、少しの緣を頼んで、孫左衛門の宅に厄介になつてゐる間市太夫といふ老武士だつた。

「奥樣に申し上げます。只今旦那樣の御使の傳內どのが、至急旦那樣にお目に掛りたいと申しまして、お玄關に御座います」

次の部屋から、取次の女中の聲がした。

「何の用かは存じませぬが、只今主人は留守なれど、妾で解る事なれば妾が替はつて會ひませう」

お節は、縫ひかけの茶紬の袷の針をとめて、かう言つた。

もう四十の坂に手が屆いてゐるが、それでも四人の母とは思へぬ艷々しい光澤を有つてゐた。

やがて、老僕、佐平に案內されて、傳內は枝折戸から、飛石傳ひに這入つて來た。

「卒爾ながらお訊ね申しますが、若旦那樣は、御在宅で御座いますか？」

「……」

意外な言葉に、お節も市太夫も目を見張つた。

「孫次郎殿は御不在ぢや、昨夜からお歸りがない」

「えッ」

この返事に傳內は驚いたやうな顏ざしだつた。その後を言ひかねて氣の毒さうに點頭れた。

「どうしたのぢや」

市太夫にかう訊かれて、傳內は思ひ直して語つた。

「何を隠しませう、私が紅葉のお使で、馬淵の瀬戸まで參りますと大勢の人だかり、何だらうと思つて覗いて見ますと、傷の瀧れ死骸なのでございます。その死骸には肩から胴へかけて刀疵がございます。多分双傷でも致したやうに見受けました。それが何と、お歎かはしいお宅の若旦那樣でございます」

「えッ」

お節は思はず、膝を乘り出して早涙ぐんでゐた。

「外ならぬお宅の若旦那樣、自宅のお嬢さんとは縁談のある孫次郎樣でございますので、取るものも取り敢ずお知らせに上つた次第でございます。一應お取調べ遊ばされては如何でございます」

「よく知らして下さいました、實は昨夜から默つて出掛けたまゝ、今だに戻つて參りませぬので案じてゐた所でございますが、孫次郎に限つて一太刀で殺されるやうな不覺な最期は致すまいと心得ますが、念の爲ちや、市太夫樣御檢分下さいますか？」

と、流石に作の腕を信じて、市太夫に言つた。

「心得申した、さらば」

市太夫が立ち上ると、續いて今まで射弓の稽古をしてゐた、喜六、忠太夫も續いて佩刀に反りを打たして立ち上つた。

流石に胸を衝く不安さに、お節は立ち上つて、神棚に燈明をあげた。

と、お歸りといふ聲が、玄關先に響いた。孫左衛門が城から退つて來たのであつた。

お節は、澁茶を立てゝ運んだ。

「お歸り遊ばせ」

と、挨拶して侑める茶を、孫左衛門はぐうと飲み干した。

「昨夜から妙に胸騒ぎを覺えるが、別に變つた事はないか？」

お節は口籠りながら委細を物語つた。

「えッ」

孫左衛門は、ぎよつと驚いた。

この時、門邊に佇む鳥追女の、かき鳴らす三味線の音が不氣味に淋しく響いて來た。

三月十七日　舊二月廿二日　金曜　壬午　大安　下　牛宿

●一白の人　他の和は無けれども人の和はあり進んで吉　巳と癸と丑が吉

●二黑の人　內に屈する所ありても外に伸ぶる所あり吉　乙と丁と辛が吉

●三碧の人　早呑込みするときは意外の失敗を招くべし　未と庚と壬が吉

●四綠の人　苦は身を研くの砥石と思ふて辛抱すべき日　壬と癸と寅が吉

●五黃の人　身を低ふして極限り働くときは大吉となる　庚と辛と戌が吉

●六白の人　外に出ても人の口舌を聞くよりも內が安全　甲と丙と戌が吉

●七赤の人　內を能く整理する時は外は自ら順調となる　丁と亥と寅が吉

●八白の人　運氣吉に向つて開け行く日名弘開店など吉　乙と辛と戌が吉

●九紫の人　運氣澁滯焦れば焦るほど躓きあり萬般注意　丙と丁と亥が吉

小爲替拔取りの―

犯人は一體何者？

さても不思議！怪事件發生

新京局腦み拔く

強盜傷害と連日の續發に市民は極度の恐怖と不安におびへ切つて居る矢先、これは又ちよつと手口の變つた、犯人不明の小爲替拔取の怪事件が發生したので新京郵便局、新京署は協力、極秘裡に犯人搜索に沒頭して居るが未だにその端緒を得ず、果して眞犯人は何れへ潜んでゐるが事件は益々迷宮入りとなつた

關東軍交通監督部勤務の大村卓一氏は去月十日東京市世田ヶ谷區太子堂齋藤和江さん宛て金十圓の小爲替を

＝封人＝ 書留郵便をもつて送附した、處が宛名人が受取開封して見ると奇怪にも封入してあるべき小爲替が影も形も見えない、そこで不思議な事があるものと和江さんは直ちに大村氏宛に其の旨を通報したので新京局では、それは一大事とばかり早速嚴重な調査を行つた結果意外にも大村氏が送附した筈の該小爲替が十三日三笠町局で市内富士町一丁目二番地山口久三郎に

＝現金＝ を拂渡してゐる事實が判明した、然し同記肩書町には山口久三郎なる者は居住しておらず行方不明で眞疑の程さへ知れず、然も其の筆跡は極く幼稚な子供である、當時大村氏は監督部の給仕池田某に爲替、書留をなさせた模樣が池田某は三笠町で小爲替を組み日本橋局で書留をなして居る事實も判明してゐるが果して眞犯人は何者であらう

金額は僅かでも

非常に心苦しい思ひ

憂鬱の木村郵便課長語る

右について木村郵便課長は語る

實に不思議でならぬ先方ではけ犯人が局内に居るかの如くに思つて居られる樣子だが私は局内にはそんな不心得な者は居ないと確心してゐる、係員についても詳細な取調を行つたが何等怪しい樣子は發見しなかつた、然しどう考へても不思議な事實だ、金額は僅かではあるが眞犯人が擧げられぬ間は非常に心苦しい思ひがする、一日も早く潔白を知らせたいものであ

滿鐵の新住宅區に

商店街を現出

來る七月ごろ一般に貸下げ

住宅難緩和されん

目下の住宅難と將來の發展を見越して今ごろ滿鐵に土地の貸下げを受けやうとする者、全く引きも切らぬ有樣だが當の土地係では空地といふ空地は今のところすつかり拂下げて殘るところなく、唯だ現在

から、いよく一般に貸下げされるのは來る七月頃の豫定であるが同方面は鋪地多くほんとに使用されるのは半分位の見込みである

共にここに一大住宅區が形造られることとなるのでそれらのため前記新買收地内には幹線道路二本を敷いて商店街とする豫定であり、この商店街を中心に新社宅用地約四萬坪

＝着手＝ 後でなければならない

を除く十九萬坪が一般に貸下げられる勘定である、これらの地割が整地されるのは社宅新築

なほ挑戰を繼續せば

斷然膺懲せん

喜峰口の戰鬪につき

陸軍當局發表

〔東京十六日發國通〕喜峰口の戰鬪に關して陸軍では左の通り發表した

喜峰口方面で服部部隊が隱忍自重し長城線上を越えざるを與し安しとして十三日支那軍は兵三千名を以て我に向ひ攻撃を行ひ、其後續々兵力を增加し來つた、依つて

＝服部＝ 部隊は膺懲の目的をもつて敵を攻撃し、十四日追撃を加へた、服部部隊が苦戰中と十五日傳へられたが、公報によれば事實は反對で我が部隊は依然同地を占據し、增援隊も要せずとて頑張つてゐるが、支那側では熱河の敗退が飽氣なすぎたので名譽恢復の積りか支那一流の虛構の宣傳を恣にし、事情を知らぬ外國人を瞞着せんとしてゐる、我が軍が滿を持して放たざるに對し斯の如き虛構な宣傳を放ら執拗　挑戰的

＝行動＝ を續けるに於ては皇軍も遂に戰術上の考慮より斷然立つて膺懲を行はなければならぬが、その責任は勿論全然挑戰を繼續する支那側にある

太古史料整理に

水野氏、旅順へ

〔大連十六日發國通〕旅順の羅振玉私邸に秘藏される太古史資料を對支文化事業の一事業として整理する事となり、この整理に當る水野梅曉氏は本日入港　バイカル丸で着連直ちに旅順に向つたが左の如く語る

何しろ廣範なもので整理も非常な時日を要しやう、羅氏邸には外に老常六萬册もあるさうだから、これも見たいと思ふ、又奉天にある四庫全書三萬六千册が滿洲事變にも何等の損傷なく保存された事は誠に喜ばしい事で、是非奉天にも行きたいと思つてゐる

梨樹縣の賊

二名捕る

〔四平街支局發〕梨樹縣城内の匪賊侵入の情報に接した、縣警務局では非常警戒中のところ十五日午後三時半頃城内を徘徊中の擧動不審なる二人組滿人を誰何せしにやにはに逃走せんとしたるを格鬪の末一名を現場に於て逮捕一名は城外に向け逃走を企て公安隊の追跡に逃場を失つた賊は縣公署内に跳込んだ處を難なく捕縛し目下嚴重取調中

對支舊債權處分

關係者の協議

〔東京十六日發國通〕支部關係事業會社のシンヂケート團が東亞工業の舊帝政時代の支那に關する借款八百萬圓は數年來債務不履行の狀態となりたるが、昨日七年度の支拂期が來たので關係會社代表は午後一時から興銀に總集し興銀の藤田課長整理狀態を說明し協議の結果、當分債務履行の延期を承認する事となつた

永井新駐獨大使

滿洲國を視察

赴任の途、大連で語る

〔大連十六日發國通〕新任駐獨大使永井松三氏はシベリア經由赴任の途、本日午前八時半入港のバイカル丸で來連、大和ホテルに一泊、十七日午前九時「はと」で新京に向ふが左の如く語る

大連は十年振りである、シベリア經由のついでに新興滿洲國を視察して行く、任地に着く前に獨逸のことに就いて語る事は差控える、また聯盟に就いても語る自由を持たぬ、然し聯盟に對する我態度と塲は既成の事實を踏んで行く迄だと多くを語らなかつた

同行の一氏幹事長韓虎、同令光弼、同趙、鄒氏等は同會新設挨拶のため十六日午後本社來訪

遊資過剩の對策

日銀手持證券賣下げを要求

〔東京十六日發國通〕月半ばで遊資過剩の現象を見た金融界では日銀手持の米穀證券買の要求擡頭しつゝある、米穀證券は十五日現在で僅々二千九百萬圓を殘すに過ぎず、その殘額も近く賣盡される狀態にあるので日銀のオープン、マーケツト、オペレーションの材料たる短期證券も皆無となる譯であり、日本當局は斯かる場合は短期公債四歩半利ものに放資の道を求むと見てゐる

小林作家の勞農葬

〔東京十六日發國通〕築地署で急死した左翼作家小林多喜二郎の勞農葬は昨日午後三時から會合豫定であつたが非合法手段に出る恐れあり、警視廳では禁止したるも無産者團体續續押寄せ百餘名が檢束された

一月中の綿布輸出高

〔東京十六日發國通〕紡績聯合會調査によれば二月中の綿布輸出高左の如し（單位千平方碼）

支那	三五二八八
香港	一五七七
蘭印度	二九〇〇〇
英領印度	三八五四七
その他	五二〇四七
合計	一五六四七一

支那向けは千三百萬平方碼の激增をなしてゐる

國道局事務開始

三月三日附公報を以て官制の公布を見たる國道局は十四日より新京市第一廳舍（現在文教部國都建設局のある處）に於て事務を開始した電話は四三九八である

天幕生活をつゞけ

若人三名が野菜耕作

公主嶺の農業實習生らが

けふ愈よ仕事始め

生活必需品としての野菜が事變後の新京では著しく高値を呼んでゐるが、公主嶺農業實習學校の新卒業生波多野修三君ほか二名は新京市民のため是非新鮮にして安價な野菜を提供したいといふので滿鐵側の諒解の下に孟家橋北方と識會社鐵道用地を借り受け三人が共同して耕作することとなつた一行は酷寒も意とせず取十六日から同地にテントを張り自炊生活を續け乍ら勤勉であつて奮鬪しやうといふのである

試驗休み

新京商業學校では來る二十一日から十日間、高等女學校では二十八日から十日間を試驗休みとして休業する筈である

十三日、西廣場校が二十四日で、二十九日から三十一日迄三日間が試驗休みであるが本年は一日が滿鐵創立記念日に相當し、二日が日曜、三日が神武天皇祭と續く爲四日から始業をなすと

兩小學校の卒業式

小學校の卒業式は室町校が二

滿蒙進出發展の原動力

自力更生の道は

安價生活にあり

（二）

醫學博士　松浦有志太郎

正しき生活、即ち是れ安價にして健康なる生活、經濟、衛生、道德、の理法に合致する生活、三位一體の生活。鼎に三脚ありて安定する如く、又その一つを缺けば立つ事能はざるが如く、三者相背反せず互に相助けて立つが如く、經濟上に安き（安價、安定度大なる）生活は衛生上にも安康にして又道德上にも安泰なり、即ち儉約と養生と修養とは三位一体相助けてい離れては成立し能はざるものである、故に不經濟なる生活は同時に不衛生且つ不道德の生活となるものである。

次に具體的の事實に就て一々之を解說せんと欲す我々人間の生命健康を保持する爲になくてはならぬ資料は次の四つである。

一、光線（日光）
二、空氣（酸素）
三、水（飲料）
四、食物（食料）

一、光線　日光は人間を始め萬物の生命の親様である、日光なくば萬物は直に死滅する、日光は人間の健康に最もよろしい、結核病の如きも日光療法でよく治する、日光のよく入る家には醫者は入らない、そして此の日光は全く只で與へられる、金錢を拂ふ必要はない只の物が一番衛生上よろしい。

電氣燈には金が入る、電氣の光は日光の樣な衛生上の効力はない、故に早起早寢をして可及的太陽の光を無駄にせずと働き、金のかゝる電氣燈は可及的用ひぬ方が健康上よろしい、之に反して朝寢坊、夜ふかしの生活は不健康である。夜十二時過ぎても金のかゝる赤い青い電燈など澤山つけて一時二時三時迄もなにかやつて居るのは、不經濟、不養生、不道德の生活が多い。

二、空氣　此は一分間もなくては人間は生きて行けぬ、生命健康上の必要である、此は只でいくらでも吸へる、只の空氣程健康上よろしい、金錢のかゝる空氣を吸ふ事は、不經濟で不衛生で、不道德である、然るに我國民は年々二億八千萬圓と云ふ莫大の代價を拂ふて、ニコチンと云ふ毒瓦斯を空氣の中にくすべて混ぜて之を吸ひ、甘いとか、辛いとか云ふて得意がり、肉體を傷め精神を汚し他人の迷惑を顧みず人の家を燒き、自分の壽命を縮めておる。吸ふ事、即ち此であ。煙草を喫煙家は此は嗜好だから他人から彼れ是れ言はるゝ限りでないと言ふ、いくら嗜好でも自分の身を害し、他人を迷惑させ國家の損害となるものは止めて欲しい。

外交官の鴨獵

〔東京十六日發國通〕畏き邊りの思召しに依り外交官鴨獵は十六　埼玉縣越ヶ谷御獵場で行はれた、此の日は李王、同妃兩殿下御臺臨、フランス大使マルテル氏始め、ベルギー、スペイン、キユーバ、ブラジル、ポルトガル、各　大使及び代理公使並びに館員同夫人等は午前九時半東武線淺草驛發、一同御獵場に赴き鴨獵打興じた

競馬場用地たる

＝陸軍＝ 官舍西方新買收地二十三萬坪は解氷と同時に滿鐵社宅四百戸が建築されることとなつて居り陸軍官舍三百戸と

日本軍の軍紀嚴正振り

米國民、好感を抱く

米國では錦州九日發エーピー通信として左の事實を報道してゐるがニユーヨークタイムスも之を利用したので米國内では大部、日本に好感を持つやうになつて來た、其の内容は

感謝してゐるし、日本軍の行動は立派とするに足る、徵税員に對しては住民に即時現金支拂を勵行してゐると

朝鮮人青年へ幹事挨拶

新京朝鮮人青年會幹事長鄭之浚源の實數暦もム氏は安全に傳道をなし得ることを

▲相樂軒のタエ子先日ミーさん云々のことさゝやきに斷然憤慨してゐるそうですそう怒るんじやないよ、勤めだも許して▲ミス東洋以前のゼ子パーを一蹴した意氣物凄くてもはんじやうしてゐる、一新した女給連のサービスがメキくと效を奏してゐる▲このサトミ大連から轉勤して來た斷髮がールサトイモが大好きそうな顏をしてゐる、名も其の邊から生れたのでせう▲新富の旭紫なんでも強い、第一かんが強い、氣が強い、負けん氣が強い、うぬぼれが強い、それから